



希望の初日の出

千年希望の丘近くの防潮堤から撮影した初日の出。穏やかな天気も手伝って、1号丘、2号丘には暗いうちから多くの市民が集まりました。



水平線のあたりがだんだん赤くなり始め、しばらくすると、太陽が雲の上に顔を出しました。希望の丘と防潮堤にいた人たちは、この1年の息災を願いご来光に向かって手を合わせていました。

新春

フォト スケッチ 2016



▲金蛇水神社の絵馬

初詣

穏やかだった今年のお正月。竹駒神社には三が日で約53万人の参拝客が訪れました。

元朝参りには大晦日のうちから参拝客が並び始め、除夜の鐘が鳴る頃には長蛇の列ができました。参拝の後には縁起物の鰯矢や絵馬を買ったり、おみくじをひいたりしながら、この1年の家内安全・商売繁盛などを願いました。



新春賀詞交歓会

1月4日、ホテル原田で「平成28年岩沼市新春賀詞交歓会」が行われ、市内各界の関係者らが新年のあいさつを交わしました。

主催者の小野宏明岩沼市商工会長は「震災復興関連事業を中心にまちの活性化、特産品の開発などの事業を行うとともに、仙台空港の民営化に対しては地域の活性化のあり方を模索しながら、商工会として行政とともにリーダーシップを発揮し、地域発展につなげていきたい」とあいさつしました。

どんと祭

1月14日、御神火に一年の無病息災を祈願する「どんと祭」が市内の神社などで行われました。

正月飾りのしめ縄や松飾りを投げ入れ手を合わせる参拝者のほか、竹駒神社では、市商工会が募集した裸参りの参加者85人が白装束に身を包むなどして市内を練り歩いた後、大きく燃え上がる御神火を取り囲む姿が見られました。



～白寿をお祝いしました～



及川りうさん
(99歳)

12月20日に及川りうさん(三色吉北)がめでたく誕生日を迎えられ、市から敬老祝金が贈られました。

長寿の秘訣を伺うと、「特別何ということはないけど、大きな病気をすることなく過ごすことができました」と笑顔で話してくれました。

これからも元気で過ごしてください。

～長寿をお祝いしました～



加藤 ハキノさん
(100歳)



片平 みつよさん
(103歳)

1月7日に加藤ハキノさん(三色吉北)が、同月13日に片平みつよさん(二木第二)がめでたく誕生日を迎えられ、市から敬老祝金が贈られました。

これからも元気で過ごしてください。

ウオッチング

街角

イベントや身近なできごとを紹介します

取材

プロの選手と一緒にサッカー

～大久保剛志^{ごうし}サッカー教室～

12月20日、市陸上競技場で岩沼市と名取市のスポーツ少年団を対象にサッカー教室が開催され、6チーム約140人が参加しました。これは、市出身で現在タイのプレミアリーグで活躍している大久保剛志選手が古巣のソニー仙台の協力を得て開催したものです。

ウォーミングアップの後、低学年と高学年に分かれて試合方式で指導をしました。大久保選手は全てのチームに入って選手たちに声を掛けながら一緒にボールを追いました。子どもたちはプロの技術を間近に見ることができて、大いに刺激を受けたようです。



▲子どもたちと一緒にゲームに興じる大久保選手



▲子籠り鮭を食べ、江戸時代に思いを
はせていました

350年前の味覚に舌鼓

～郷土食「子籠り鮭」の復元・試食会～

12月28日、江戸時代に製造されていた郷土食「子籠り鮭」が復元され、試食会が開催されました。

「子籠り鮭」は鮭の腹に筋子を詰め、塩に漬けて天日干ししたもので、仙台藩や幕府にも献上されるほど高い評価を得ていましたが、時代とともに生産量が減り、明治時代には途絶えてしまいました。

「子籠り鮭」を復元した平塚静隆^{しずたか}さん(寺島)は、震災後、郷土の文化を残したいと思い立ち、古老の話や文献などを元に復元しました。